

佐方 鎮先生 喜多見さき先生
 下田 次郎先生 下田 たつ先生
 關根 正直先生 杉 敏介先生
 早川 いく先生 千葉 安良先生
 高橋 つま先生 高橋 スエ先生
 吉川 りよ先生 三上 エミ先生

○賛助員

本校卒業生にて從來本會會員たりし諸姉は前記の規定により賛助員となられ候されど貴名は特に掲載仕らず候

○新賛助員

和歌山縣 町立橋本實女 市瀬 富貴子
 鳥取縣 鳥取高女 稻葉 みつ
 福岡縣 柳河高女 半田 タマ
 靜岡縣 町立大宮實女 濱野 ひて
 宮崎縣 師範學校 長谷川 スガ
 熊本縣 熊本高女 堀尾 トメ
 東京 女高師附屬高女 千葉 安良
 山口縣 玖珂郡立岩國高女 大池 ふさよ
 新潟縣 相川町立實女 渡邊 梅
 北海道 小樽高女 河崎 ナツ

福島縣 會津高女 川村 はな
 鹿兒島縣 第一高女 加賀山 貞
 靜岡縣 女子師範 吉永 ふみ
 茨城縣 水戸高女 竹尾 恵子
 滋賀縣 彦根高女 竹田 倭子
 岡山縣 玉島町立實女 田中 元惠
 東京 女高師附屬小學 高橋 スエ
 愛知縣 市立名古屋高女 土屋 つね
 廣島縣 三原女子師範 筒井 たか
 山口縣 佐波郡立高女 中島 喜久
 佐賀縣 私立成美高女 中西 ヒサ
 香川縣 組合立白山高女 中川 絹重
 宮崎縣 宮崎高女 上村 しづか
 石川縣 江沼郡立實女 小林 きしの
 香川縣 高松高女 櫻井 藤枝
 新潟縣 高田高女 白鳥 シロ
 大分縣 町立臼杵實女 森 とみ
 石川縣 能美郡立實女 關 かれ

文科一部二年生
 伊藤 ふき 長谷ちかよ 別所 ひで 太田 ヨネ
 荻野よしの 奥野 健野 笠井 たつ 横井滿幾野
 武川 正代 山田はな子 山中 たか 馬庭 トシ

○新入會員

古河まつる 安部 トキ 齋藤 レイ 佐藤 ヤス
 木村はな 水野 ひで 日比野 貞 鈴木美與喜
 中村 嘉津 中島 ヒサ 上田マサノ 中山ヤチヨ
 川上 靜江 倉田 松代
 文科一部一年
 新田 薫 小曾戸ヨシ 和田 胤子 蚊泉 靖子
 田中 好江 山下 マツ 安吉 ます 前田 のぶ
 江見 セツ 神 ッヤ 平井 せつ 常陸 伊よ
 鈴木 康 須田しげ代

○賛助員移動

芦川 春子 高田市榊形十一に移轉
 大鹽 せつ 兵庫縣明石女子師範に轉任
 加藤 雛 退職
 重松しげの 兵庫縣加古郡立高女に轉任
 寺山 まつ 埼玉縣川越高女に轉
 安岡 寅惠 滋賀縣賢科長瀬高女に轉任

◎第二十三回文科學術談話會

去る五月十一日午後一時より當校講堂に於て第廿三回文科學會を開催せり
 講演順序は左の如し。

一開會の辭

下村 先生

一純文學に就きて 文學博士芳賀矢一先生
 一關東平野の交通線路 文四 岩田 フミ
 一俳諧に就きて 文三 初鹿野とみ
 一知行の關係 文四 福田 ふめ
 下村先生より開會の辭に次ぎて今回新に成立せる學術談話會に關する規程を承り、それより豫定の通り講演ありて午后五時に閉會せり。會場の一隅には甲冑標本及中古時代裝束の標本を陳列して會衆の觀覽に供したり。當日は校長先生はじめ關根先生、荻野先生、下田次郎先生、下村先生、下田たつ子先生の御來臨あり卒業生諸姉も亦數名來會せられたりき

◎第二回會計決算報告

収入 金六拾八圓六拾壹錢也
 内譯
 四拾貳圓拾壹錢 前回よりの繰越金
 貳圓拾錢 卒業生會費
 貳拾四圓四拾錢 生徒の二號會誌代
 支出 金四拾九圓七拾五錢也